

令和8年度 豊溪中学校 学校経営計画

【学校経営の理念】

練馬区の教育ビジョンに基づき、「夢や目標を持ち困難を乗り越える力を備えた子どもたちの育成」を目指します。令和11年度の統廃合計画を見据えつつも、常に「目の前の生徒」を主役に据え、互いに高め合う教育活動を展開します。

● 確かな学力の育成

基礎基本の定着と、ICT を活用した思考力・判断力・表現力の育成。

● 社会とのつながり

地域・保護者とビジョンを共有し、信頼できる大人との関わりの中で豊かな心を育む。

● コミュニティ・スクール(CS)

CS 指定校として、地域をパートナーとした協働運営を推進。

I. 教育目標

「健康で心豊か、そしてよく学ぶ人」

人権尊重の精神を培い、国際的な視野をもち社会の変化に主体的に対応できる資質、および生涯学び続ける心身ともに健全な生徒を育成する。

II. 目指す3つの姿

目指す学校像
1. 生徒一人ひとりを大切にする学校 誰も取り残さない・楽しい・挑戦できる
2. 教職員が組織として機能する学校 安心して登校できる・研鑽に努める
3. 保護者・地域とともにある学校 連携・協働できる・信頼できる

目指す生徒像
1. 主体的に学ぶ生徒 自分で考え学習する、他者と協働できる
2. 誠実な生徒 素直でやさしい、自他共に大事にできる
3. 心身とも健康な生徒 正しい生活習慣を身に付ける、心と身体を鍛える

目指す教師像
1. 情熱や使命感のある教師 子どもに対する愛情や責任感がある

2. 教育の専門家としての力量がある教師

高い専門性がある、授業が楽しい

3. 研鑽に努め、共に学ぶことができる教師

研鑽を積む、教職員・生徒とともに学ぶ

III. 学校経営計画・重点施策

柱	中期的な経営目標
連携・協働 保護者・地域との	保護者・地域とともにある学校づくり ① 5年間のCS研究成果の継承 ② ボランティアネットワークの構築 ③ 「K中ベーシック・K中ゼミ」の連携運営 ④ 地域貢献できる生徒の育成
学力の定着向上	個別最適な学びと確かな学力の定着 ① 少人数のよさを活かした協働的な学び ② 主体的・対話的で深い学びの展開 ③ 自学自習習慣の確立支援 ④ ICT機器の高度活用推進
人権尊重・健全育成	豊かな心と信頼関係の醸成 ① 「特別の教科 道徳」を核とした心の教育 ② 行事や特別活動を通じた自己指導力の育成 ③ いじめ防止、生命尊重、国際理解の推進 ④ 道徳授業地区公開講座による三位一体の教育
体力向上	健康と体力の増進・安全教育の徹底 ① 保健、給食、食育の充実 ② オリパラ教育と日本ウエルネス大等との連携 ③ 防災・安全教育による危険回避能力の育成 ④ 情報モラルや薬物乱用防止等の専門教育
組織力の向上	教職員の資質向上と組織力の強化 ① 人権研修による望ましい言語環境の整備 ② 授業力向上のための校内研修・講師招聘 ③ ICT活用スキルのボトムアップ ④ 服務事故(体罰・性暴力)の根絶

柱	令和8年度の達成目標と具体的な手立て
携・協働 保護者・地域との連	CS活動の定着と地域貢献の推進 ① CS協議会の月1回開催と互恵的連携 ② 地域資源(伝統文化等)を活用した体験充実 ③ 地域・保護者が参画する「開かれた学校」 ④ 地域行事・ボランティアへの積極参加

学力の定着・向上	きめ細かな指導と自学自習環境の整備 ① 数・英の少人数/TT 指導による個の伸長 ② 学力向上支援講師の有効活用 ③ 地域・大学生と連携した学習環境の整備 ④ 教員研修を通じた ICT 授業活用の拡大
人権尊重・健全育成	道徳性の育みと自治能力の伸長 ① 各教科・活動を通じた系統的な道徳教育 ② 場に応じた適切な行動を考える場の設定 ③ 生徒会・行事による責任感と自治能力の育成 ④ 規範意識と「利他の精神」に基づく意見交流
体力向上	健康増進と安全管理・防災連携の強化 ① 食に関する指導とアレルギー対策の徹底 ② アスリート招聘講演会等による体力向上推進 ③ 小学校・地域・関係機関と連携した防災訓練 ④ 発達段階に応じた喫煙・薬物乱用防止指導
組織力の向上	指導力の研鑽とサービス事故防止の徹底 ① 生徒一人一人の人権に配慮した指導の実践 ② 子どもの良さを引き出す授業力の向上研修 ③ タブレット等を活用した指導の充実 ④ 計画的なサービス研修による事故の根絶

IV. 組織的な危機管理対応

1. いじめへの対応

- **未然防止:** 「豊溪中学校いじめ防止基本方針」の周知と、一掃プロジェクトへの参加。
- **早期発見:** 年3回の全校アンケート実施と生活指導部による分析。
- **迅速解決:** 学校いじめ対策委員・生活指導部を中心とした対応と SC (スクールカウンセラー) や心のふれあい相談員と連携した多角的な支援。

2. 性暴力・体罰の根絶

- **意識改革:** サービス事故防止研修を計画的に実施し、倫理観を再醸成。
- **実態把握:** 体罰調査および校長面接の実施。
- **事後対応:** 被害生徒の安全確保を最優先し、教育委員会と即時連携。

V. 学校事務・学校栄養に関わる重点事項

1. 学校事務:円滑な運営と透明性の確保

- (1) 円滑な学校運営のための予算策定、効率的な適正執行、および私費負担の軽減
- (2) 物品・施設等の適正な管理と有効利用の推進
- (3) 給与・諸届・旅費・認定等に関する事務手続きの適正化
- (4) 各関係機関との密な連絡調整による、迅速かつ確かな庶務・渉外処理

2. 学校給食:安全・安心と食育の推進

- (1) 栄養バランス・安全性・嗜好性を考慮した、変化のある献立作成
- (2) 安全な給食の提供と衛生的な環境整備
- (3) 食への興味・関心を高める指導資料の提供および指導助言
- (4) 給食費の適正な管理と計画的・効率的な予算執行

生徒を取り巻く環境が大きく変わるこれからの数年となります。これまで同様、生徒の成長を一番に考え学校経営を行います。お気付きのことがございましたらいつでもご連絡ください。よろしくお願いいたします。

令和8年度 学校経営計画の全文を本校ホームページ (HP*) に掲載しておりますのでご覧いただければ幸いです。

* 豊溪中 HP: <https://www.nerima-tky.ed.jp/houkei-j/>



【全校朝礼の話 4/13】

実は、ある話の続きなんです…

さて、入学式での私の話を覚えていますか？春の七草の一つ「スズシロ」、つまり大根の花の花言葉のお話をしました。何力でしたっけ？…そう、「適応力」です。今日は、そのお話の続きをしたいと思います。

皆さんは「適応する」と聞くと、うまく状況に合わせてその場を乗り越えていくということだと思いませんか？これは「順応」という別の言葉のことです。

順応をわかりやすく説明すると、例えば、新しいクラスの時間割や、ルールのパースに少しずつ体が慣れていくこと。自らの意思や考えではなく、外部や周りの人に従うように自身を変化させることです。良く言えば「トラブルを起こさず合わせていく力」とも言えるでしょう。集団の中で過ごしていくには、こうした、流されながらうまく状況に合わせてその場を乗り越えていくということも必要です。しかし、順応ばかりしていると、ただ周りの空気に「流される」だけ、自分を周りの色に「染める」だけになってしまい、いつか疲れてしまいます。

ここで、大根の姿を思い出してください。大根は土の中に真っ直ぐ、深い「根っこ」を張っていますよね。人間でいう「根っこ」とは、「自分の信念」や「大切にしたい考え方」のことです。この根っこがしっかりしていないと、周りの意見に流されるだけになってしまいます。適応力がある人というのは、実は誰よりも「自分の根っこ」をしっかりもっている人なんです。

そして、土の中でどっしりと根を張る一方で、地上に咲くスズシロの花は、風に吹かれればしなやかに揺れます。「私は絶対に動かない！」と突っ張るのではなく、風の流れに合わせて身を

任せる。でも、根っこが抜けることはありません。

「自分の芯は曲げない(根っこ)」

でも、

「状況や相手の言葉には柔軟に耳を傾ける(花と茎)」

頑固になりすぎず、かといって自分を捨てて流されることもない。この絶妙なバランスが、スズシロが教えてくれる「適応力」の正体です。

自分の根っこを持ちながら、「この環境で、どうやったら自分らしくいられるかな？」と自分の頭で考え、行動を選ぶこと。私が皆さんに身につけてほしいのは、ただ慣れるだけの「順応」ではなく、自分の意志で動く「適応」の方です。

これからの新しい生活で、皆さんは色々な風に吹かれると思います。時には冷たい風や、強い風が吹くこともあるでしょう。「自分をしっかりともった上での適応力」を身につけていけば、どんな場所でも皆さんは自分らしく、きれいな花を咲かせることができるはずです。



(とある場所で見つけたスズシロ。

このときも風に吹かれてゆらゆら揺れていました。)

<表彰>

第27回虚子・こもろ全国俳句大会 「学校賞」

特選

若竹の
青い空から
光さす

佳作

夏の雨
けむりはき出す
アスファルト



豊浜中では、今校内のあちらこちらで
色とりどりの花々が真っ盛りです。
ご来校の際は、春爛漫の雰囲気是非
味わってください。